

東京都立羽村高等学校 令和3年度 年間授業計画

教 科 地理歴史 科 目 日本の歴史2 単位数： 2 単位
 対象学年組 第3学年 1組～8組
 教科担当者 (1組～8組： 佐藤)
 使用教科書 詳説 日本史B (山川出版社)
 使用教材： 山川ビジュアル版 日本史図録 (山川出版社)

| | 指導内容 | 日本の歴史2の具体的な指導目標 | 評価の観点・方法 | 配当時数 |
|-----|--|--|---|------|
| 4月 | ガイダンス 武家社会の成長 1. 室町幕府の成立 | 授業内容や評価方法について 時代区分論について 鎌倉幕府の滅亡や建武の新政、新政に対する武士や民衆の反発について考察する。 建武の新政が崩壊し、南北朝の動乱のなかで守護大名、国人一揆などの新たな地域権力が形成されたことについて考察する。 | | 8 |
| 5月 | 2. 下剋上の社会 | 幕府の体制を整備し、安定した支配体制を築いた足利義満の政治を、大きく変容した東アジア情勢を踏まえて考察する。 南北朝の動乱のなかで農民が自治組織を形成し、一揆を結び、それが次第に村を越えて結びつき、徳政を求める土一揆へと発展していった過程を考察する。 | ・関心・意欲・態度 ・思考・判断・表現 (授業態度) | 6 |
| 6月 | 3. 室町文化 期末考査 | 細川勝元・山名持豊の幕政の主導権をめぐる対立や、畠山・斯波の管領家の家督争い、將軍家の後継争いなどにより勃発した応仁の乱の経過とその後の影響について考察する。 武家が公家を圧倒していった時代であり、日本の伝統文化の原型が形成された室町期の文化的な特色について考察する。 北山文化・東山文化それぞれの時期の芸術や宗教の特色や、それらが庶民や地方へ広がっていったことを考察する。 | ・知識・理解 (プリント提出) (ノート提出) (定期考査) | 8 |
| 7月 | 4. 戦国の動乱 | 実力で領国を形成した戦国大名が、どのように権力を獲得し、領国支配をおこなっていたか考察する。 この時代に発展した都市と、そこで経済活動をおこなったり、自治的に都市を運営したりしていた人々の活動について考察する。 | | 4 |
| 9月 | 幕藩体制の成立 1. 織豊政権 | 鉄砲とキリスト教の伝来を、大航海時代の展開に関連させて世界史的視野で考察し、キリスト教の伝来が日本の社会にあたえた影響とともに、キリスト教が急速に広まった背景について考察する。 織田信長の統一事業を桶狭間の戦いから本能寺の変に至る流れのなかで把握し、信長台頭の要因を考察する。 豊臣秀吉による天下統一の過程と、豊臣政権の経済基盤や太閤検校と刀狩を考察し、豊臣政権が近世社会の基盤を形成したことを多角的に考察する。 秀吉の対外政策について、キリスト教禁教策が不徹底だった要因や朝鮮出兵の意図とその影響を考察する。 | | 8 |
| 10月 | 1. 織豊政権 (桃山文化) 2. 江戸幕府の成立 3. 江戸初期の外交と文化 | 新興の大名や都市の豪商の精神を反映した桃山文化について、さまざまな文化財をもとに時代的背景を踏まえて考察する。 関ヶ原の戦いで実権を握った徳川家康により江戸幕府が開かれ、整えられた職制の下で、経済的にも軍事的にも圧倒的な力で全国支配を実現し、幕藩体制を確立したことについて考察する。 スペイン・ポルトガルへの警戒と諸大名の強大化をおそれた幕府が、キリスト教禁教と「鎖国」政策を展開した要因について考察し、「鎖国」の意義と「鎖国」体制下の四つの窓口を通じた対外関係を理解する。 | ・関心・意欲・態度 ・思考・判断・表現 (授業態度) ・知識・理解 (プリント提出) (ノート提出) (定期考査) | 8 |
| 11月 | 幕藩体制の展開 1. 幕政の安定 2. 経済の発展 3. 元禄文化 期末考査 | 由井正雪の乱をきっかけに、幕府政治の転換が図られた経過について考察し、將軍綱吉による儒教を中心とした政策について、幕府財政の悪化の要因とその対策、影響についても考察する。 新田開発や農業技術の進歩により、農業生産がめざましく発達したことを、具体的事例をもとに考察する。 元禄期の経済発展と幕政の安定を背景に、上方の豪商を中心に町人たちに担われた元禄文化の特色を具体例を通して考察する。 | | 8 |
| 12月 | 幕藩体制の動揺 1. 幕政の改革 | 幕府の財政が悪化するなかで実施された享保の改革の諸政策を、財政の再建、都市政策の二つの側面から考察する。 老中田沼意次による、商品経済の積極的活用を具体的な諸政策を通じて考察するとともに、飢饉により、百姓一揆や打ちこわしがおこる状況のなかで挫折していく過程を考察する。 | | 6 |
| 1月 | 2. 江戸幕府の衰退 学年末考査 | 宝暦・天明期の学問・思想及び文学・美術について、その社会的な背景を踏まえて考察する。 天明の打ちこわしの直後、寛政の改革に乗り出した松平定信の諸政策について考察する。 天保の飢饉をきっかけにおこった大塩の乱の背景とそれが社会に与えた影響について考察する。 | ・関心・意欲・態度 ・思考・判断・表現 (授業態度) ・知識・理解 (プリント提出) (ノート提出) (定期考査) | 6 |
| 2月 | 3. 化政文化 | 学問・思想・美術・生活文化の新たな展開に着目して、江戸を中心に発展した化政文化の特色を理解する。 | | 8 |
| 3月 | | | | |
| | | | | 70 |